

2026年9月14日

各 位

株式会社 紀陽銀行

Key Site における和歌山大学生向けの アントレプレナーシップ教育実践演習の実施について ～和歌山大学、和歌山市、株式会社 ATOMica と連携し、アントレプレナーシップ醸成へ～

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、国立大学法人和歌山大学（学長：本山 貢）およびソーシャルワーキングスタートアップである株式会社 ATOMica（代表取締役：嶋田 瑞生、南原 一輝）と連携し、和歌山市の協力のもとインキュベーション施設「Key Site」にて和歌山大学の大学生を対象とした単位認定型キャリア教育プログラム「アントレプレナーシップ教育実践演習（以下、本プログラム）」を実施しますので、下記のとおりお知らせいたします。

紀陽銀行は今後も「Key Site」における学生のアントレプレナーシップ教育を通じて、地域の未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

記

1. 目的

本プログラムは、アントレプレナーシップ教育の一環として、学生が地域と関わりながら地域課題を捉え、その解決に向けたビジネスを考える全 60 時間にわたる実践型プログラムです。

大学・行政・スタートアップ・金融機関が連携し、地域課題を解決するビジネスを構想することにより、学生のアントレプレナーシップ（起業家精神）を育むことを目的としています。当行はプロジェクトマネジメントを担い、地域の人材育成と地域貢献活動の両面から学生の挑戦を支援します。

2. プログラム概要

講 義 名	アントレプレナーシップ教育実践演習（キャリア教育プログラム）
実 施 時 期	2026 年 8 月 5 日～2026 年 10 月上旬
場 所	Key Site（和歌山県和歌山市黒田 2 丁目 18 番 5 号）
受 講 者	和歌山大学生（2 年生）
内 容	・ 地域課題解決に取り組むスタートアップのイベント企画支援・参加 ・ フィールドワークによる地域事業者へのヒアリングを通じた地域課題の整理 ・ 地域課題の解決を目的としたビジネスプランの作成・発表

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール 8「働きがいも経済成長も」、ゴール 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



＜ご参考＞ インキュベーション施設「Key Site」について

2025 年 3 月 27 日（木）に、株式会社紀陽銀行、株式会社 ATOMica および株式会社マネーフォワードのグループ会社であるマネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社が運営する「HIRAC FUND（ヒラクファンド）」が連携し、和歌山市内に「Key Site（以下、当施設）」を開設しました。

当施設のテーマとして“Region Bridge”（スタートアップと地域をつなぐ懸け橋）を掲げており、当施設を拠点に地域全体での取り組みを進め、和歌山県の地域経済成長および、スタートアップエコシステムの成長に貢献してまいります。

【施設概要】

名 称	Key Site（キーサイト）
所 在 地	和歌山県和歌山市黒田 2 丁目 18 番 5 号（JR 和歌山駅徒歩 8 分）
運 営 企 業	株式会社紀陽銀行、株式会社 ATOMica、株式会社 K-FIRST
連 携 企 業	HIRAC FUND／マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社
施 設 内 容	スタートアップ支援、コミュニティ・コワーキング施設 レンタルオフィス、カフェの運営
開 設 日	2025 年 3 月 27 日（木）
設 備 概 要	階 数：5 階建 延床面積：1,338.23 m ²
設 計	株式会社ディー・サイン
U R L	https://kiyo-keysite.com

KEY SITE サイクル（活動イメージ）

